

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【公開番号】特開2012-105660(P2012-105660A)

【公開日】平成24年6月7日 (2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2012-14665(P2012-14665)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 Q 1/06 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/705

C 1 2 Q 1/06

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/566

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月8日 (2012.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

匂い物質受容体が細胞表面に局在しており、細胞系が、1) 配列番号：33をコードする核酸配列に対応し、且つ匂い物質受容体細胞表面局在化および匂い物質受容体機能発現を促進する能力があるポリペプチドをコードしている第一の遺伝子、および、2) 配列番号：38をコードする核酸配列に対応し、且つ匂い物質受容体細胞表面局在化および匂い物質受容体機能発現を促進する能力があるポリペプチドをコードしている第二の遺伝子を発現する、匂い物質受容体を発現する細胞系。

【請求項 2】

請求項 1 記載の細胞系から作製された細胞膜調整物。

【請求項 3】

匂い物質受容体がヒト匂い物質受容体である、請求項 1 記載の細胞系。

【請求項 4】

匂い物質受容体がマウス匂い物質受容体である、請求項 1 記載の細胞系。

【請求項 5】

匂い物質受容体が合成匂い物質受容体である、請求項 1 記載の細胞系。

【請求項 6】

a) i) 1) 配列番号：33をコードする核酸配列に対応し、且つ匂い物質受容体細胞表面局在化および匂い物質受容体機能発現を促進する能力があるポリペプチドをコードしている第一の遺伝子、および、2) 配列番号：38をコードする核酸配列に対応し、且つ匂い物質受容体細胞表面局在化および匂い物質受容体機能発現を促進する能力があるポリペプチドをコードしている第二の遺伝子を発現する、匂い物質受容体を含む細胞または細胞膜、および

i i) 1つまたは複数の試験化合物

を供給する段階、

b) 該試験化合物を該細胞系または該細胞膜へ曝す段階、ならびに

c) 該匂い物質受容体の活性を検出する段階を含む、

匂い物質受容体リガンドを同定するための方法。

【請求項7】

2つ以上の試験化合物が含まれる、請求項6記載の方法。

【請求項8】

検出段階がレポーティング剤を検出する段階を含む、請求項6記載の方法。

【請求項9】

匂い物質受容体がヒト匂い物質受容体である、請求項6記載の方法。

【請求項10】

試験化合物が匂いのある分子である、請求項6記載の方法。

【請求項11】

匂い物質受容体がマウス匂い物質受容体である、請求項6記載の方法。

【請求項12】

匂い物質受容体が合成匂い物質受容体である、請求項6記載の方法。

【請求項13】

匂い物質受容体に特異的な対照化合物の存在下で試験化合物が曝される、請求項6記載の方法。

【請求項14】

d) 前記活性に基づいて匂い物質受容体リガンドの存在または非存在を検出する段階をさらに含む、請求項6記載の方法。